

■コメント

1. 腸管出血性大腸菌感染症

2件の報告があり、今年の累計は3件となりました。例年、気温が高い時期に感染者が多くなる傾向があるため、注意が必要です。

2. ヘルパンギーナ

定点当たり報告数は2.04人と、前週と比べてやや減少しました。

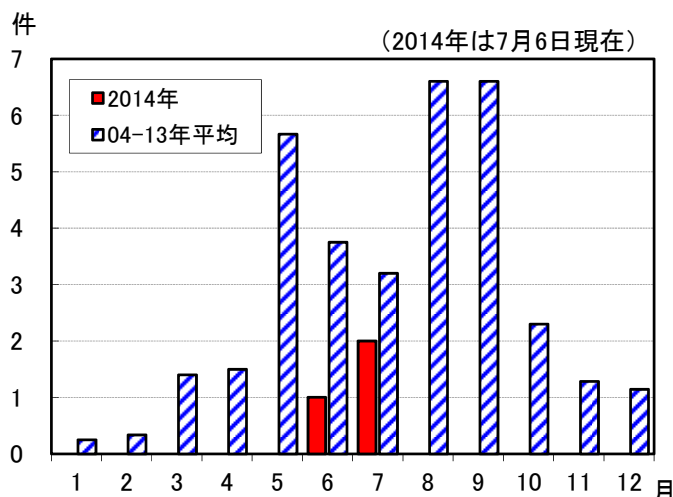
なお、患者の年齢は、4歳以下の乳幼児の占める割合が高くなっています。(次頁参照)

3. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

定点当たり報告数は3.17人と、前週と比べてやや増加し、例年同時期と比較して多い状態が続いています。

腸管出血性大腸菌感染症の月別報告数

(2014年は7月6日現在)



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号
フィリ	インフルエンザ	1	0.03	0.03		小児科	流行性耳下腺炎	24	1.00	0.85	
小児科	咽頭結膜熱	14	0.58	0.70		小児科	RSウイルス感染症	2	0.08	0.02	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	76	3.17	1.06		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.03	
	感染性胃腸炎	130	5.42	4.08		眼科	流行性角結膜炎	4	0.50	0.83	
	水痘	32	1.33	0.94		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	0.14	
	手足口病	5	0.21	5.88			無菌性髄膜炎	2	0.29	0.03	
	伝染性紅斑	-	-	0.45			マイコプラズマ肺炎	2	0.29	0.43	
	突発性発しん	15	0.63	0.68			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	百日咳	1	0.04	0.11			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	
	ヘルパンギーナ	49	2.04	1.99							

急増減 ↑ ↓ 前週と比較しておおむね1:2以上の増減

増減 ↗ ↘ 前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減

微増減 ↖ ↙ 前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減

横ばい ⇐ ⇒ ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	4	93	女性(20歳代)・1人、女性(30歳代)・1人、男性(70歳代)・1人、男性(80歳代)・1人
3	腸管出血性大腸菌感染症	2	3	女性(10歳未満)・O26、男性(60歳代)・O血清群不明・市外
5	ウイルス性肝炎	1	3	男性(40歳代)・B型
5	急性脳炎	1	4	男性(10歳未満)
5	後天性免疫不全症候群	1	9	男性(30歳代)・感染者

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

		インフル エンザ	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパ ンギー ナ	流行性 耳下腺 炎	RSウイル ス感 染症	急性出 血性結 膜炎	流行性 角結膜 炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズ マ肺炎	クラミ ジア肺 炎	(ロタウ イルス) 感染性 胃腸炎
報告数	第23週	4	11	84	227	29	3	1	15	-	12	19	2	-	6	-	1	-	-	-
	第24週	2	12	72	188	47	3	-	19	3	17	24	1	-	2	-	1	1	-	4
	第25週	3	12	57	178	34	2	1	20	1	35	19	1	-	5	-	1	-	-	3
	第26週	1	17	61	126	35	7	-	20	-	55	32	-	-	2	-	1	1	-	-
	第27週	1	14	76	130	32	5	-	15	1	49	24	2	-	4	-	2	2	-	-
定点 当たり	第23週	0.11	0.46	3.50	9.46	1.21	0.13	0.04	0.63	-	0.50	0.79	0.08	-	0.75	-	0.14	-	-	-
	第24週	0.05	0.50	3.00	7.83	1.96	0.13	-	0.79	0.13	0.71	1.00	0.04	-	0.25	-	0.14	0.14	-	0.57
	第25週	0.08	0.50	2.38	7.42	1.42	0.08	0.04	0.83	0.04	1.46	0.79	0.04	-	0.63	-	0.14	-	-	0.43
	第26週	0.03	0.71	2.54	5.25	1.46	0.29	-	0.83	-	2.29	1.33	-	-	0.25	-	0.14	0.14	-	-
	第27週	0.03	0.58	3.17	5.42	1.33	0.21	-	0.63	0.04	2.04	1.00	0.08	-	0.50	-	0.29	0.29	-	-
全国	第25週	0.10	0.84	2.47	5.46	1.13	0.58	0.33	0.67	0.02	1.31	0.35	0.08	0.01	0.66	0.02	0.05	0.26	0.01	0.14
	第26週	0.07	0.83	2.36	4.99	1.03	0.66	0.36	0.67	0.02	1.74	0.37	0.08	0.01	0.63	0.02	0.06	0.26	0.01	0.11

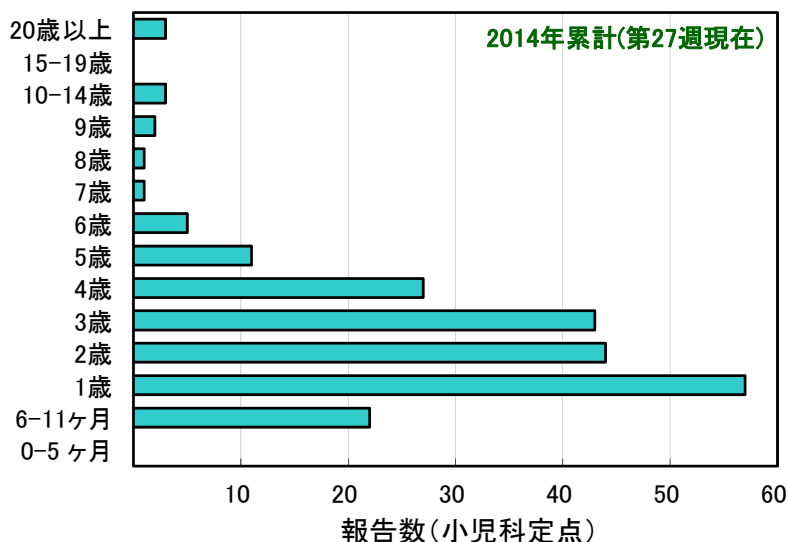
■新たに判明した病原体検出状況

(検査:広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
その他の消化器疾患	嘔吐 下痢 腹痛	1	女	2014/05/21	糞便	サポウイルス
その他の疾患	発熱(39.0) 頭痛	9	女	2014/05/31	咽頭拭い液	パラインフルエンザウイルス1型
その他の疾患	発熱(40.8) 熱性痙攣	1	女	2014/05/23	咽頭拭い液	パラインフルエンザウイルス3型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

【参考】広島市におけるヘルパンギーナの年齢階層別報告数(2014年累計)



ヘルパンギーナの患者の年齢は4歳以下がほとんどで、1歳代が最も多く、次いで2、3、4歳代の順となっています。

発熱と口の中の水疱を特徴とするウイルス性の疾患で、まれに髄膜炎や急性心筋炎を併発する場合があります。嘔吐や頭痛が続く場合は、髄膜炎の可能性もありますので、早めに医療機関を受診してください。

なお、この疾患は、回復して症状がなくなっても、2～4週間の長期間にわたって便などにウイルスが排泄されるので、感染予防のためには、手洗いの励行と排泄物の適正な処理を心がける必要があります。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp

2014年第27週(6月30日～7月6日)